

[成果情報名]オーチャードグラスの県奨励品種候補「きよは」の特性

[要 約]オーチャードグラスの中生品種「きよは」は、中生品種「まきばたろう」よりも収量が多く、越夏性及び秋の草勢に優れる。

[担 当]山梨県畜産酪農技術センター・草地環境科・遠藤 美杉

[分 類]技術・普及

[課題の要請元]

畜産課

[背景・ねらい]

オーチャードグラスは本県の基幹牧草である。県奨励品種として中生品種の「マキバミドリ」が指定されているが、現在は販売終了となっている。近年新しい品種が育成されていることから、県内の気象条件等に適した優良品種を選定する。

[成果の内容・特徴]

1. 畜産酪農技術センター長坂支所（北杜市長坂町 標高 700m）における、中生品種「きよは」の出穂始めは「まきばたろう」よりも4日遅い（表1）。
2. 「きよは」の越夏性は「まきばたろう」よりやや優れ、秋の草勢は「まきばたろう」よりも優れる（表1）。
3. 「きよは」の倒伏程度は2番草において「まきばたろう」より優れ、病害は「まきばたろう」と同程度である（表2）。
4. 「きよは」の3年間合計乾物収量は「まきばたろう」比で102とやや多収であり、特に2番草、3番草の乾物収量が多い（表3、表4）。

[成果の活用上の留意点]

1. 栽培適地は、中間地～高冷地で、放牧や採草利用に適している。
2. 枯死を防ぐため、越夏前は高刈りとし、盛夏期の利用を控える。

[期待される効果]

1. 本県で「きよは」を利用することにより、自給飼料の増産が図られる。
2. 今後、所定の手続きを取り、県奨励品種として指定される見込みである。

[具体的データ]

表 1 生育特性（3年間：2022～2024年）

品種名	出穂始め	越冬性 ¹⁾	越夏性 ¹⁾	秋の草勢 ¹⁾	秋の被度 ²⁾
きよは	4月30日 ^a	6.3	8.0	5.8 ^a	100
まきばたろう	4月26日 ^b	6.2	7.2	5.0 ^b	100

1)1:極不良～9:極良

2)2024年の値

縦列の異符号間で有意差あり（*a,b: p<0.05*）

表 2 倒伏程度と病害（3年間：2022～2024年）

品種名	倒伏程度 ³⁾			葉枯性病害 ³⁾		
	1 番草	2 番草	3 番草	1 番草	2 番草	3 番草
きよは	2.1	1.5 ^b	1.3	1.5	4.4	3.3
まきばたろう	2.7	2.7 ^a	1.1	1.7	4.4	3.2

3)1:無～9:甚

縦列の異符号間で有意差あり（*a,b: p<0.05*）

刈取及び調査時期 1番草：5月上旬 2番草：7月下旬 3番草：10月下旬

表 3 収量性（3年間：2022～2024年）

品種名	乾物収量（kg/a）				まきばたろう比
	1 年目	2 年目	3 年目	3 年間合計	
きよは	203.6	148.1	120.0	471.7	(102)
まきばたろう	200.2	149.2	111.5	460.9	(100)

表 4 番草別の乾物収量（3年間：2022～2024年）

品種名	乾物収量（kg/a）					
	1 番草		2 番草		3 番草	
きよは	195.3	(97)	167.4	(104)	109.1	(110)
まきばたろう	200.7	(100)	161.2	(100)	99.1	(100)

()は まきばたろう比

刈取及び調査時期 1番草：5月上旬 2番草：7月下旬 3番草：10月下旬

[その他]

研究課題名：飼料作物優良品種選定普及促進事業

予算区分：委託

研究期間：2021 年度～2024 年度

研究担当者：遠藤美杉、青木孝明、藤村洋子